



放課後等デイサービス結 支援プログラム



健康・生活	来所時の健康観察	来所時の検温、うがい、療育中の健康観察。
	スケジュール確認	見通しをもった療育を実施。来所後の活動の流れをホワイトボードに視覚的に提示している。それを見ながら毎日、始まりの会と終わりの会を実施し、活動の流れや帰宅する送迎の便を確認している。玄関先に当日の利用児童、勤務職員、活動内容が分かるように視覚的に提示し、安心感へ繋げている。
	生活スキルの獲得	土曜日や長期休暇時にクッキングやお菓子作り等を実施している。毎週金曜日には役割分担をして施設内の清掃に取り組み、基本的な生活スキルや協調性の獲得を目指している。
運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	体育館や公園に出掛けて体を動かす活動を実施。室内ではルールを決めてチーム分けし、ボールを使ったゲームや風船バレー、卓球等の体を使った活動やビジョントレーニングに取り組んでいる。
	保有する感覚の総合的な活用	工作をする場所と体を動かす場所、静かに過ごす部屋に区分けをし、児童に合わせた環境設定を配慮している。
認知・行動	認知の発達と行動の習得	スケジュールを確認し、時間や活動の流れを把握する。活動の終わりが分かるように、状況に応じてタイマーを使用する。
	空間・時間・数等の概念形成の習得	点線結びやクイズ、数字の穴埋め問題、見立て遊び等を通じて、数に関する概念の形成の習得をしている。
言語・コミュニケーション	言語の受容及び表出	毎日、初めの会と終わりの会を実施し、児童に司会をしてもらい、全体の中で発言をする時間を設けている。月に1回の子ども会議で取り組みたい活動の意見を発表したり、日々の活動を通じて、自分自身の思いを相手に伝えていく。活動や体験を通じて、言葉遣いや表現方法を学び、良い言葉遣いや良かった行動を振り返り、発表をしている。
人間関係・社会性	他社との関わりの形成	小集団の中での見立て遊びやルールのある活動や全体での活動を通じて、関りの中での態度や行動等の社会性を身につけていく。また、郊外活動を通じて、集団活動のルールを学んでいく。各々の児童の良かった行動や言葉遣いを振り返り、協力してシールをシールシートに貯めていき、児童の自信や自己肯定感に繋げていく。
家族支援	送迎時や電話、モニタリング時等に様子をお伝えする。状況に応じて、きょうだい児間の困り事や不登校児の相談、ご家族からの悩み等を傾聴し、ご家族に寄り添った療育を目指していく。	
移行支援	サービス担当者会議、移行支援会議への参加。学校や関係機関への情報共有・提供。	
地域支援・地域連携	関係機関と情報を共有したり、相談支援事業所に様子を報告する等行い、連携を密に図る。	
職員の質の向上	法定研修(虐待防止研修・感染予防・BCP等)。職員会議を月に1回実施し、支援の向上を目指す。外部研修(虐待防止研修、児発管研修、強度行動障害研修等)。	